



清水分校

お正月



タイトル題字 3年 尾寄 健太郎

令和2年1月号

3年生「年金セミナー」 12月12日(木)

和歌山西年金事務所などから3名を講師にお迎えして、3年生対象の「年金セミナー」を開催しました。公的年金制度の仕組みや手続きの仕方、今後気をつけることなど、3年生にとっては今後身近なことになるので、真剣に耳を傾けていました。

説明の途中で、65歳になった自分の生活費を計算しました。生徒はあれこれと考えて、家賃が高い、食費が高いなどと心配することばかりでしたが、最後に標準的な65歳夫婦の生活費は、1ヶ月で25万円と聞き、自分が現実的な費用を計算していたことに安心していました。



タイ留学生との交流 12月18日(水)



家庭科の高垣先生の紹介で、タイ人留学生・キャティア・ポー・ブルーパック(通称:ヌン)さんが、清水分校を訪れました。

彼女は大阪の高校に留学中の17歳。家庭科の授業で分校2年生が、現地タイの高校生とビデオ通話をし、お互い緊張し、照れながら自己紹介をしました。また、3年生の家庭科の授業では、グリーンカレーを、放課後の家庭クラブでは、フルーツロールケーキとクッキーをヌンさんと一緒に作りました。ヌンさんは、3月末に帰国します。1年間の留学で大変上手に日本語を話していました。



人権LHRで映画「最強のふたり」鑑賞 12月19日(木)



2学期の人権LHRでは、生徒が自分たちで決めた、2011年のフランス映画「最強のふたり」を鑑賞しました。内容は、車椅子で生活している大富豪と介護者として雇われた黒人青年が友情を結ぶ、実話に基づいたヒューマン・コメディ。年齢や環境、好みも異なる二人が、お互いを認め合い、変化していくプロセスを描いています。

(生徒の感想)「他人を認めるのはすごく難しいことだけど、大事なことだと思った」「もっと人の気持ちを考えられるような人になりたい」「障がい者に対して過剰に障がい者として接するのは、かえって本人に負担をかける可能性があり、しかし、全く気をつかわないわけではなく、適度な距離を保つ必要があると感じた」「心と心の関係というものが人にとって一番必要なもので、それが色々なことを動かすのだと思った」

「いきいき百歳体操」参加 12月19日(木)



3年生3名は、4月から総合的な学習の時間で、介護・福祉について学習してきました。今回、その一環として、地域の高齢者が、介護予防のために行っている「いきいき百歳体操」に参加してきました。今回が初めての参加で、自身の体作りのために、高齢者がたくさん参加しており、大変、いきいきとしていました。ゆっくりした体操と適度な負荷で、結構、体が温まりました。



来月の行事予定

2/ 6(木) 租税教室 2/14(金) 式歌練習 2/28(金)～1・2学年年末考査 2/28(金) 卒業式予行

